

小中連携ニュース

京 東 高 栗 古
崎 倉 東 西
小 小 小 中

2020.12.25 古西中校区小中連携チーム

令和5年義務教育学校の開校目指して

R2 乗り入れ授業

義務教育学校開校に先んじて、令和2年度は、古西中の社



会と英語の教員4名が5,6年生の授業に乗り入れ、年間490時間を予定。小学生が一足早く中学校を体感し、入学を心待ちにしています。

「中学校に行ったら習うからね」と言われた授業があったので、早く中学校に行きたいです。中学校でもよろしくお願いします。

令和3年度計画。乗り入れ授業に加え、小学生がスクールバスで西中に集まり、小、小中合同で学習。合同での運動会や立志式、宿泊訓練、教科の授業や道徳。多人数で学ぶチーム戦の球技、中学生が小学生に指導するダンス甲子園。午後の2時間、年間70時間を予定。



R3 合同授業

無言清掃

環境を整える力に加え、自分で考える力、物事に本気で集中する心を育てるのが目的。無言清掃のポイントは「無言できれいに一人で心で掃除する。」各校新たな歴史。子供たちは床や壁だけでなく心も磨きます。



アクション5

共通行動

「はい」と返事
自分から挨拶
丁寧な言葉
しっかり聞く
はっきり話す

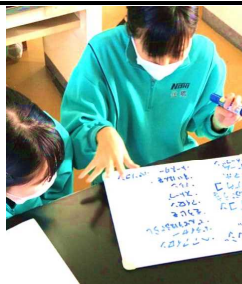


小中連携研修会

全教員による合同研修会、小6児童による中学校の授業部活動体験、指導主事訪問時を始め複数回の授業参観、幼小中の一斉引き渡し訓練、幼から小、小から中の引継会、中学校入学後の情報交換会等を実施。令和2年度には中学校の技術・家庭科教員による全小学校教員対象のプログラミング教育研修会を開催。また、令和5年度の義務教育学校開校に向けて、大崎市主催の開校準備委員会に連携して参加。事務職員も強力連携、西中生徒会役員生徒の出張挨拶運動も模索中。

聴く力話す力

しっかり聴き、自分の言葉で考え発信する力の育成に、学区の小中学校で連携して注力。西古川小「思考の順序を意識させ、話型指導を統一」、東大崎小「互いの考えを伝え合う授業づくり、ICTの活用」、高倉小「考えを伝え合う学習活動の工夫」、志田小「授業における話型訓練の徹底」、古西中「ホワイトボードミーティングによる実践強化」。



小中教員6名が先進校視察。ハイレベルな当たり前に驚きと感動。歴史と継続が生んだ偉大な成果を実感。

福井視察

